

小児科専門医研修ネットワークプログラム

1 はじめに



このプログラムは、静岡県西部の研修病院、ならびに県内浜松医大関連病院等により小児科専門医を育成するために作成するものです。このプログラムに関心を持って頂いた皆様を心より歓迎いたします。

「すべては未来ある子どもたちのために」。小児科は未来ある子どもたちの健やかな成長・発達に深く関わってゆける大変やりがいのある分野です。私たちは小児科専門医を目指す皆様を、このプログラムを通じて全力で応援させていただきます。

小児科専門医取得には各分野の小児疾患を偏りなく合計 30 症例経験することが必要です。本プログラムではこれを無理なく実現すると共に、浜松医科大学小児科を中心とした複数の病院をローテーションすることによって、後期研修期間に重要な「小児科医としての基礎固め」を行うことが可能です。皆様の積極的な応募を期待しています。

プログラムリーダー 浜松医科大学医学部小児科 教授 緒方 勤

2 目的

日本小児科学会認定小児科専門医の取得が基本的目標となります。さらに、医療上の疑問点について研究活動を行う優れた問題解決能力を備えた独立臨床研究医の育成を目指します。同時に、広い医学知識や高度な医療技術のみならず、社会人としての常識・人間性を身につけた良識ある小児科医の育成を目指します。

3 目標

1) 日本小児科学会専門医の取得

日本小児科学会が規定する小児科専門医試験では次に示す (1) ～ (10) の各分野群で、異なる疾患で少なくとも 2 症例以上、合計 30 症例の要約が必要となります。

- (1) 遺伝疾患、染色体異常、先天奇形 (2) 栄養障害、代謝生疾患、消化器
- (3) 先天代謝異常、内分泌疾患 (4) 免疫異常、膠原病、リウマチ性疾患、感染症
- (5) 新生児疾患 (6) 呼吸器疾患、アレルギー (7) 循環器疾患 (8) 血液疾患、腫瘍 (9) 腎・泌尿器疾患、生殖器疾患 (10) 神経・筋疾患、精神疾患 (精神・行動異常)、心身症

本プログラムではこの 30 症例を超えて、可能な限り多く、かつ、深く経験することを目標とします。

2) 独立臨床研究医の育成

このために、国内外の学会における発表と共に、論文発表を積極的に指導します。最終的に、研究を自身で立案・遂行し、英文論文を発表できる独立臨床研究者の育成を目指します。この過程で、専門医取得だけでなく、学位取得を奨励します。

3) 良識ある小児科医の育成

日々の臨床活動に真面目に取り組むことが、社会人としての常識・人間性を身につけ、患者・家族の信頼が得られる医師に育つ道であると信じます。

4 研修カリキュラム

日本小児科学会「小児科専門医臨床研修手帳」に準じます。

I 小児科専門医の全体目標

小児科専門医の全体目標

全体目標の自己評価と指導医評価

II 総論

評価表

小児保健の個別目標

III 経験すべき症候・疾患

1. 経験すべき症候と評価表

2. 経験すべき疾患と評価表

3. 経験すべき技能と評価表

IV 各分野の目標

成長・発達／栄養・栄養障害／水・電解質／新生児／先天異常(遺伝、染色体異常、奇形症候群)／先天代謝異常、代謝生疾患／内分泌／生体防御・免疫／膠原病・リウマチ性疾患／アレルギー／感染症／呼吸器／消化器／循環器／血液／腫瘍／腎・泌尿器／生殖器／神経疾患、筋疾患／精神疾患(精神・行動異常)、心身医学／救急／関連領域

5 研修例

1) 各病院での研修期間は基本的に1年間と致しますが、短縮(最低6か月間)も可能です。

2) 小児科専門医研修支援施設である浜松医科大学小児科での6か月間以上の研修が必修です。

【卒後3年目医師の研修計画(例)】

1年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	関連病院群の中の1つの病院											
2年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	関連病院群の中の1つの病院											
3年目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	浜松医科大学											

※日本小児科学会に入会し、3年間指定施設で研修を行うと日本小児科学会専門医の取得条件を満たします。

6 研修病院群

- (1) 浜松医科大学医学部附属病院小児科
- (2) 浜松医科大学周産母子センター
- (3) 浜松医科大学地域周産期医療学講座(寄附講座)
- (4) 磐田市立総合病院小児科
- (5) 浜松医療センター小児科
- (6) J A静岡厚生連 遠州病院
- (7) 浜松赤十字病院小児科
- (8) 中東遠総合医療センター
- (9) 藤枝市立総合病院小児科
- (10) 静岡済生会総合病院
- (11) 聖隷沼津病院
- (12) 富士宮市立病院

7 研修期間

3～5年間(日本小児科学会入会年月日により個別に対応)